

「どないです」
京都新聞に掲載!



3年(平成15年)1月28日 火曜日



ミニ新聞のバックナンバーを手に次号の構想を練る藤原さん(左京区下鴨)

信頼される開業医に

左京の
藤原さん
ミニ新聞出し2年半

平成15年1月28日付け京都新聞朝刊の市民版で、「どないです」が紹介されました。ご覧になった方も多いかと思いますが、見逃した方のために、記事の内容を掲載しておきます。

住民に信頼される医者になりたいと、地域でミニ新聞を発行している開業医が左京区にいる。医師とのつきあい方などを書き続け、一年半で十一号まで出した。「地域のかかりつけ医として根付きたい」と話している。

内科医藤原正隆さん(48)。同区下鴨で一九九八年に医院を開いた。開業医を大病院より低く見る患者がいることに気付く、開業医のことをもっと知っ

てもらおうと二〇〇〇年十月からミニ新聞「Donnaides(どないです)」を季刊で発行し始めた。

内容は医師の側から見た困った患者を挙げた「医師と上手につきあう方法」のほか、自分で胃カメラを飲んだ体験記など。糖尿病やインフルエンザなどについての読者からの質問コーナー、歯科など下鴨地区の他の開業医のインタビューもある。

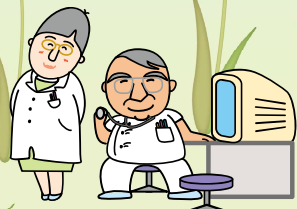
部数は現在五〇〇部。医院のほか、近くのレストランなど数カ所でも無料配布している。「介護保険など、住民にとって開業医の存在がますます重要になってくる。読者の意見が反映する新聞を目指したい」と話している。

郵送券の発行



藤原内科の院内新聞「どないです」は、藤原内科の院内に置いてあるほか、ぐるり「おむむ亭」、まきむらデンタルクリニック、理髪店「理容プラザ」などにも置いていただいております。しかし遠方で取りに来られない方などのために、郵送もさせていただきます。ご希望の方は、お気軽に藤原内科までお電話下さい。またバックナンバーも取り寄せておりますので、合わせてご利用下さい。

(できれば診療時間内にご連絡いただければありがたいです。)



医療法人祥正会 藤原内科

川端通り
高野川
北大路通り
下鴨病院
藤原内科
バス: 下鴨高木町(204.206.北9)
駐車場: 1台分有

TEL 075(781)0976 FAX 075(706)3181
〒606-0864 京都市左京区下鴨高木町39の5
e-mail in1021@poh.osaka-med.ac.jp
URL http://web.kyoto-net.or.jp/people/mf_0618

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前診 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
午後診 5:00~7:00	○	○	○	○	○	○

Donnaides

医療法人祥正会
藤原内科
院内新聞
どないです

第12号
2003/A

日本の医療は本当にダメなのか? (その1)

やっと春らしい陽気になって、桜の花も咲き始めました。しかし世の中はイラク戦争や株価の暴落など、あまり楽しい話題はありません。医療の分野においても、小泉内閣は、医療特区という特別な地域を指定し、株式会社によって病院を経営する試みを行おうとしています。医療界へ競争原理を持ち込み、医療の質とサービスの向上を図ろうというのが表向きの理由なのですが、本当は医療費削減をねらったものなのです。でも本当にそれが患者さんのためになるのでしょうか? 政府やマスコミの言うとおり、日本の医療は本当にダメなのでしょうか?

患者さんの満足度

ある調査によると、米国では患者さんの77%が自分が受けた医療に対して満足と答えているのに対し、日本では32%の患者さんしか満足と答えていないといわれています。企業参入賛成論の人たちは、この事実を楯に日本の医療がダメだと言います。なぜこんなに満足度に差があるのでしょうか?

日本では、誰でも、どこでも、保険証さえあれば、決められた同じ割合の費用負担で医療を受けることができます。これが世界に誇る「皆保険制度」です。一方米国では国民の約30%とも言われる5千万人が無保険で(「保険料が高くて保険に入れない」)、満足な医療を受けられずいます。つまり米国では医療はお金のある人が「買

う」サービスなのです。したがって自分がお金を出して良いサービスを受けるのであるなら、満足度が高いのは何も不思議ではありませんね。

医療費の格差

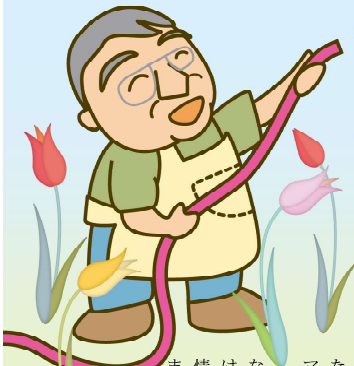
例えば出産費用。日本の場合、ホテルのようにきれいな病院で出産し、1週間入院したとしても、高いところで50万円くらいです。一方米国では、一泊二日の入院で150~200万円かかります。「ニューヨークで盲腸(虫垂炎)になって手術を受けた」といいます。一泊二日でなんと23万円! 日本では、4~5日入院しても、30万円は越えないと思います。

なぜこんなに米国の医療費は高いのでしょうか? 一番大きな違いは、診察費、人件費に関する費用だと思えます。医薬品、医療機器の代金は変わらなくても、医師に支払われるドクターフィー、入院時の部屋代、看護代などのホスピタルフィーがべらぼうに高いのです。

日本の医療事情

じゃあなぜ日本の医療費は安いのか、と言つことになりましたが、日本の大病院には、研修医や無給医局員という若い医師たちが多数存在し、職員数不足を補っています。しかし、彼らは薄給あるいは無給で働いているので、医療費は高騰しません。逆にコストをかけない分、医師も看護師も、たくさん患者を少ない人数でこなし、コマンスミのように働く必要があるのです。だからといって、サービスがおろそかになるのは許されませんが、今後どうしているかはよいのかを考えると、日本の医療事情をよく知っておいていただきたいと思えます。

(次号は日本の医療の質についてお話しいたします。)





疑問・質問に

お答えします

平成15年4月から 窓口負担が変わると 聞いたんですが？

平成15年4月から、社会保険本人の負担割合が2割から3割に変更になります。同時に、6歳から69歳の方の薬剤一部負担金が廃止になります。(70歳以上の方は平成13年1月から既に廃止済み。)国民健康保険の退職者医療制度も、割に統一されました。これまで、医療機関で投薬を受けた場合、診療料、薬剤料、検査料などの医療費以外に、投薬された薬の種類数によって、負担金が設けられていました(他に外用薬、頓服薬

にもあり)。1種類だと、無料。2〜3種類だと1日30円、4〜5種類だと1日60円、6種類以上は1日100円の負担がかかるようになっていました。ただここで言う「種類」とは、用法(こ)、「1日1回、朝食後」など(に)まとめた種類であって、その用法内での薬剤の1日薬価が205円を越えない場合は、何種類もお薬をもらっていても、「1種類」と数えま(す)。(205円を越えると、同じ用法内

に使われた薬を全て数えます。)したがって、実際にもらっている薬の数(種類)とは異なるわけです。これを「205円ルール」といいます。具体例を挙げて説明してみます。

Nさんの場合、これまでは、診療費

(診療点数の10倍)の2割の負担(2330円)に、薬剤一部負担金(4種類のお薬ですから60円×14日=840円)が加わり、窓口での支払額は3170円です。

した。4月からは、3割負担になるので3500円です。薬剤一部負担金がなくなるので、330円の負担増で済みます。(但し、血液検査や、レントゲン検査などが加わることもっと負担金は多くなります。)

Iさんの場合、これまでは、診療費

の2割の負担(810円)に、薬剤一部負担金(外用薬のみ50円)が加わり、窓口での支払額は860円でした。4月からは、3割負担になるので1220円です。

藤原内科はもともと余分なお薬は出さない主義ですので、薬剤種類数が多い方は殆どなく、残念ながら窓口負担が減る方はいらっしゃいませんが、6種類以上の投薬を受けている方(1日100円の負担)は、2週間で1400円、4週間で2800円の負担がなくなりますから、逆に安くなる方もあると思います。

しかし、院外処方診療所で投薬を受けておられる方は、この一部負担金もともとありませんので、窓口負担が安くなることはありません。院外処方では院外処方と比べ、診療費は割高ですから、3割になるとその差が広がることになります。



45歳 男性 Nさん

病名
糖尿病
高血圧症
高脂血症

再診料	81			
継続管理加算	5			
特定疾患療養指導料	225			
外来管理加算	52			
処方料	42	ダオニール 2.5mg	3錠×14日	70
調剤料	9	プロブレス 8mg	1錠×14日	294
特定疾患処方管理加算	15	フルバスク 5mg	1錠×14日	126
薬剤情報提供料	10	リビトール 10mg	1錠×14日	238
診療処置料 (合計点数)	439	薬剤費 (合計点数)	728	

診療点数 (診療処置料+薬剤費) 1167



61歳 男性 Iさん

病名
上気道炎
いわゆる「風邪」

初診料	270			
処方料	42	PL顆粒	3包×3日	6
調剤料	9	ロキソニン 60mg	3錠×3日	24
調剤料 (外用薬)	6	ダーゼン 10mg	3錠×3日	27
薬剤情報提供料	10	イソジンガーグル 30ml	1本	11
診療処置料 (合計点数)	337	薬剤費 (合計点数)	68	

診療点数 (診療処置料+薬剤費) 405



院長
KBS京都
に行く!

番外
ちよっと
あじまさっ



45歳 男性 Nさん

平成15年2月10日、KBS京都ラジオ「村上祐子の情報ラジオ」に出演し、「ごないん」を紹介されました。その模様を再現してみました。

発行されたきっかけは?

藤原 院内新聞を発行する前に、地域住民向けの健康教室を開催していたんですが、ある方が、「急に用事ができて参加できなかったんですが、何かまとめたものはありますか?」とおっしゃってくださいました。それで健康教室のまとめを作りました。ご世作のな(ら)びだんの診察の中ではお話しできない、私の考え、医療に関する豆知識みたいなものを、皆さんに知って頂くため、院内新聞の発行を思いつきました。

紙面の内容は?

藤原 医療に対する私の考え方を紹介したり、患者さんからお聞きする質問を取り上げて、それにお答えする

村上祐子の
情報ラジオ

コーナー。それに、ごないん(の)目玉企画でもあるのですが「ちよっとあじまさっ」(と)いう、近隣の医療機関を院長が訪問して、インタビューを行い、皆さんに紹介するコーナーがあります。

藤原 大変カラフルで読みやすい紙面ですが、紙面作りで特に気遣われていることは、うちの従業員であった方々、イラストレーターをされている安純子さんに描いて頂いています。イラストのおかげでコンパクトな雰囲気になる(と)、皆様にご喜ばれています。

藤原 「DO notes」と書く(と)、一見外来語のように見えますが、声を出して読んでみると「ごないん」という京弁弁。「ああ、そうか」とあ(と)気づく(と)意外性をねらってつけてみました。

藤原 それから10号で、先生の胃カメラ体験記が載っていますね?

藤原 これが意外に受けました。消化器内科の専門医である私の家内によ(っ)てもらったんですが、医師という(と)自分は病气など全然「ごないん」というイメージがあるのかも知れませんが、胃カメラ検査を受けた方から「先生も胃カメラ、飲まはったんですね。

藤原 これからの老齡化社会にむ(っ)けて、開業医は何をすべきか(と)いうところになるかと思つて(す)が、お年寄りの生活を支えて(い)くためには、医師は病气だけを診てい(ら)ねばいいという時代ではないと思(っ)います。つまり介護もきめたトータルなサポートが必要(と)なるわけですが、一人の

藤原 開業医の評判としてよく聞くのは、「優しい先生」とか、「親切に話を聞いてくれる」といったものですが、い(ま)は「丁寧」に診てくれている医師であ(ら)うと、癒を見落(と)したり治療方針を間違(ら)わしてはなん(と)にもなりません。我々開業医は、ある程度「なんでも」診(ら)ない(と)いけない。開業医が全ての分野で専門家である必要はないと思(っ)いますが、少なくとも「われら自分(ら)の守備範囲なのか、あるいは専門病院へ任せたい方がいいのか(と)くらの判断が的確にできるか(と)かりつけ医になりたいと常々考(え)ています。

藤原 今後の企画や取り組みがあれば?

藤原 これからの老齡化社会にむ(っ)けて、開業医は何をすべきか(と)いうところになるかと思つて(す)が、お年寄りの生活を支えて(い)くためには、医師は病气だけを診てい(ら)ねばいいという時代ではないと思(っ)います。つまり介護もきめたトータルなサポートが必要(と)なるわけですが、一人の



力ではどうしても限界があるんです。左京というところは介護保険が始まる前から、行政、保健所、消防、社会福祉協議会、介護サービス事業者などの連携が盛んで、いろいろな取り組みをやっています。毎年3月に行われる「左京区高齢者の保健・医療・福祉をみんなで考えるひらき」という催しも今年でもう10回目ですが、劇形式のワークショップなど、面白い企画を用意している(と)、ご興味のある方には是非ご参加頂(け)ればと思います。